

## 1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」(昭和40年法律第109号)により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。9月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り。

### でん粉の需給見通し

#### 【平成30でん粉年度 (見込み)】

需要量：268万トン (前年度比0.3%増)

供給量：269万4000トン (同0.3%増)

#### 【令和元でん粉年度 (見通し)】

需要量：272万6000トン (同1.7%増)

供給量：275万1000トン (同2.1%増)

表1 でん粉の需給見通し

(単位：千トン)

		平成29でん粉年度 (実績)	平成30でん粉年度 (見込み)		令和元でん粉年度 (見通し)				
		計	10-3月	4-9月	計	10-3月	4-9月	計	
需要	糖化製品	1,737	804	982	1,786	822	992	1,814	
	化工でん粉	323	159	166	325	165	165	330	
	その他(製紙用、ビール用、片栗粉など)	614	284	286	570	284	299	582	
	合計	2,673			2,680			2,726	
供給	前年度繰り越し	9			12			14	
	国産いもでん粉(生産量)	211	195	—	195	212	—	212	
		かんしょでん粉	29	27	—	27	30	—	30
		ばれいしょでん粉	182	168	—	168	183	—	183
	調整金 徴収 対象	コーンスターチ	2,303	1,073	1,242	2,314	1,077	1,261	2,338
		輸入でん粉 (糖化製品、化工でん粉用)	135	69	75	144	78	75	153
	輸入でん粉(その他用)	9	5	7	12	9	7	17	
	小麦でん粉	17	8	9	17	8	9	17	
	合計	2,685			2,694			2,751	
	次年度繰り越し	12			14			25	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

			令和元年10月～令和2年3月 (見込み)			令和2年4月～9月 (見通し)			令和元でん粉年度計		
			かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	8	14	22	7	15	22	15	29	44
		化工でん粉	2	13	15	1	15	16	3	28	31
		その他	6	21	27	6	22	28	11	43	54
		小計	16	48	64	13	52	65	29	100	129
	その他の用途	0	35	35	0	38	38	0	73	73	
	計	16	83	99	13	90	103	29	173	202	
供給	前期からの繰り越し	4	10	14	18	110	128	4	10	14	
	生産量	30	183	212	0	0	0	30	183	212	
	計	34	192	226	18	110	128	34	192	226	
次期への繰り越し			18	110	128	5	20	25	5	20	25

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖餌料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

### (1) でん粉の需要量の見通し

用途ごとのでん粉の需要量の見通しは以下の通り。

#### 【糖化用向けでん粉の需要量】

#### 平成30でん粉年度は、前年度からわずかに増加の見込み

30でん粉年度は、上期は平年よりも気温が高い傾向で推移していることから、前年度比1万1000トン増、下期は異性化糖の需要の約6割を占める清涼飲料などの家計消費支出が増加傾向であることから、前年度比3万9000トン増と見込まれ、年度計では前年度を4万9000トン上回る178万6000トンと見込まれる。

令和元でん粉年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるため、清涼飲料向けの需要の増加が予想されることから、前年度を2万8000トン上回る181万4000トンと見通している。

#### 【化工でん粉用向けでん粉の需要量】

#### 平成30でん粉年度は、前年度からわずかに増加の見込み

30でん粉年度は、仕向け先ごとの需要の変動は想定されるものの、全体としては近年の需要がおおむね維持されるとみられ、前年度を2000トン上回る32万5000トンと見込まれる。

令和元でん粉年度は、仕向け先ごとの需要の変動は想定されるものの、全体としては近年の需要がおおむね維持されるとみられ、前年度を5000トン上回る33万トンと見通している。

#### 【その他用途向けでん粉の需要量】

#### 平成30でん粉年度は、前年度からかなりの程度減少の見込み

30でん粉年度は、ビール向けの需要が減少したことなどから、前年度を4万4000トン下回る57万トンと見込まれる。

令和元でん粉年度は、仕向け先ごとの需要の変動は想定されるものの、全体としては近年の需要がお

おむね維持されるとみられ、前年度を1万2000トン上回る58万2000トンと見通している。

## (2) でん粉の供給量の見通し

各種でん粉の供給量の見通しは以下の通り。

### 【かんしょでん粉の生産量】

#### 平成30年産は、前年からかなりの程度減少の見込み

30年産の原料かんしょについては、台風24号による塩害や、収穫圃場<sup>ほじょう</sup>において新たな病害による立枯症状や塊根の腐敗が発生したことから、かんしょでん粉の生産量は、前年を2000トン下回る2万7000トンと見込まれている。

令和元年産については、作付面積は前年並みが見込まれ、生育も順調であることから、かんしょでん粉の生産量は前年を3000トン上回る3万トンと見通している。

### 【ばれいしょでん粉の生産量】

#### 平成30年産は、前年からかなりの程度減少の見込み

30年産の原料ばれいしょについては、夏場の低温などにより小玉傾向となったことに加え、北海道胆振東部地震の発生に伴う停電の影響により、一部の工場<sup>工場</sup>で中間生産物（でん粉乳）の廃棄が発生したことから、ばれいしょでん粉の生産量は前年を1万4000トン下回る16万8000トンと見込まれている。

令和元年産については、作付面積は前年並みが見込まれ、生育も順調であることから、ばれいしょでん粉の生産量は前年を1万5000トン上回る18万3000トンと見通している。

### 【コーンスターチの供給量】

#### 平成30年でん粉年度は、前年度からわずかに増加の見込み

コーンスターチの原料となるトウモロコシ

（2018年産）は、わが国のコーンスターチ用トウモロコシの過半を供給する米国において、前年から500万トン減の3億6600万トンと見込まれているが、これまでの生産量と比較して高い水準が維持されていること、また、近年の異性化糖生産量が増加傾向であることから、30でん粉年度の供給量はでん粉ベースで前年度を1万1000トン上回る231万4000トンと見込まれる。

令和元でん粉年度については、2019年産の米国のトウモロコシ生産量は、前年から1300万トン減の3億5300万トンと見込まれているが、これまでの生産量と比較して高い水準であることや、東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い清涼飲料向けの需要の増加が予想されることから、前年度を2万4000トン上回る233万8000トンと見通している。

### 【輸入でん粉の供給量】（糖化製品、化工でん粉用）

#### 平成30でん粉年度は、前年度からかなりの程度増加の見込み

30でん粉年度は、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（TPP11協定）および日EU経済連携協定（EPA）に基づき新たに設定された関税割当枠が活用されることなどを見込み、前年度を9000トン上回る14万4000トンと見込まれる。

令和元でん粉年度も、前年度と同様に関税割当枠が活用されることなどを見込み、前年度を9000トン下回る15万3000トンと見通している。

### 【輸入でん粉の供給量】（その他用）

#### 平成30でん粉年度は、前年度から大幅な増加の見込み

30でん粉年度は、TPP11協定および日EU・EPAに基づき新たに設定された関税割当枠が活用されることなどを見込み、前年度を3000トン上回

る1万2000トンと見込まれる。

令和元でん粉年度も、前年度と同様に関税割当枠が活用されることなどを見込み、前年度を5000トン上回る1万7000トンと見通している。

### 【小麦でん粉の供給量】

#### 平成30でん粉年度は、前年度と同水準の見込み

小麦でん粉は、主に畜水産練製品向けとして供給されており、30でん粉年度は直近までの製造実績の傾向から1万7000トンと見込まれる。

令和元でん粉年度についても、安定した供給がなされると見込まれ、1万7000トンと見通している。

## 2. 輸入動向

### 【タピオカでん粉の輸入動向】

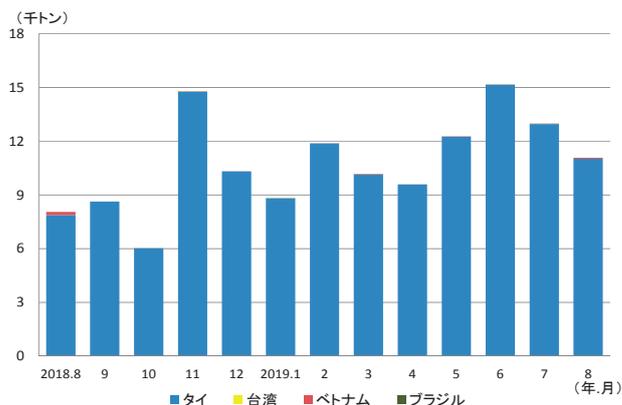
#### 8月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2019年8月のタピオカでん粉の輸入量は、1万1074トン（前年同月比37.5%増、前月比14.7%減）と、前年同月から大幅に増加した（図1）。

輸入先国はタイ、ベトナムおよび台湾の3カ国で、輸入量は次の通りであった。

タイ	1万1020トン
	（前年同月比39.9%増、前月比15.0%減）
ベトナム	51トン
	（同71.2%減、同9.8倍）
台湾	3トン
	（前年同月輸入実績なし、同28.3減）

図1 タピオカでん粉の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

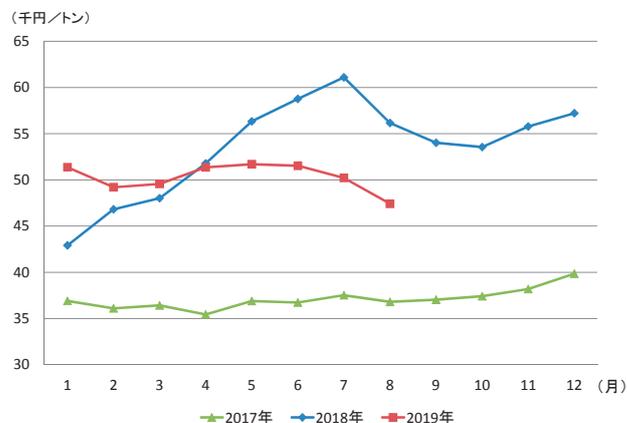
注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

2019年8月の1トン当たりの輸入価格は、4万7428円（前年同月比15.6%安、前月比5.6%安）と、前年同月からかなり大きく下落した（図2）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	4万7399円
	（前年同月比15.8%安、前月比5.4%安）
ベトナム	4万6745円
	（同8.8%安、同73.4%安）
台湾	16万9474円
	（前年同月輸入実績なし、同2.4%安）

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

## 【サゴでん粉の輸入動向】

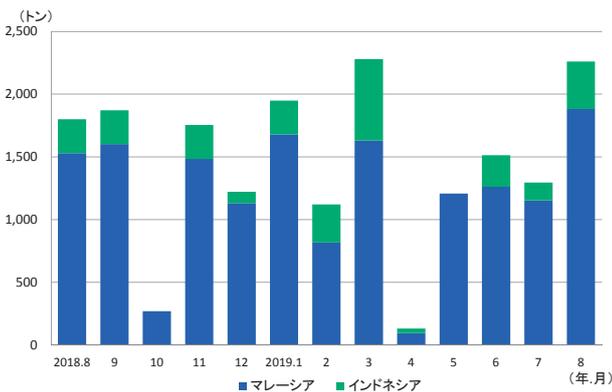
### 8月の輸入量は前年同月および前月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2019年8月のサゴでん粉の輸入量は、2260トン（前年同月比25.6%増、前月比74.4%増）と、前年同月および前月から大幅に増加した（図3）。

輸入先国はマレーシアおよびインドネシアの2カ国で、輸入量は次の通りであった。

マレーシア	1882トン
（前年同月比23.0%増、前月比63.4%増）	
インドネシア	378トン
（同40.0%増、同2.6倍）	

図3 サゴでん粉の国別輸入量の推移



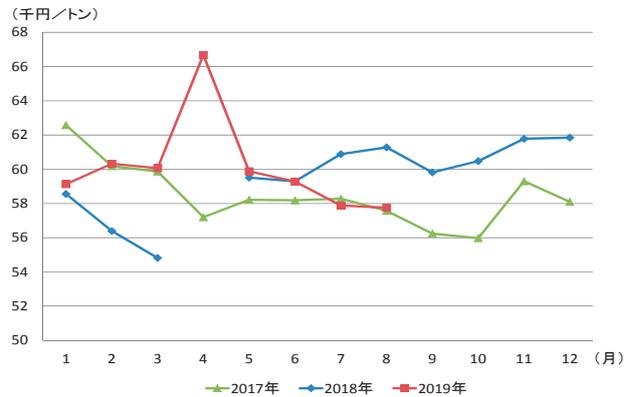
資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

2019年8月の1トン当たりの輸入価格は、5万7750円（前年同月比5.8%安、前月比0.2%安）と、前年同月をやや下回った（図4）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア	5万7959円
（前年同月比6.6%安、前月比0.2%高）	
インドネシア	5万6709円
（同0.3%安、同2.7%安）	

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注1：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019  
注2：2018年4月のサゴでん粉は輸入実績なし。

## 【ばれいしょでん粉の輸入動向】

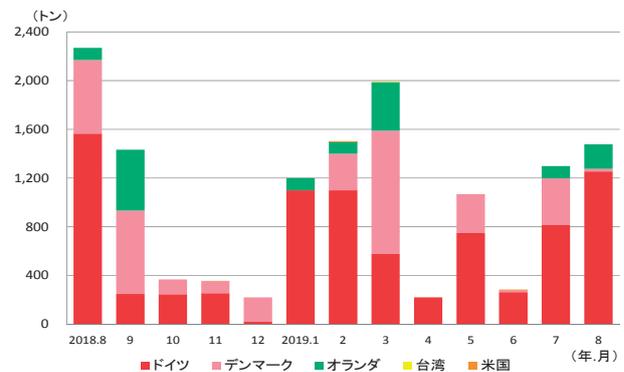
### 8月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2019年8月ののばれいしょでん粉の輸入量は1476トン（前年同月比34.9%減、前月比13.7%増）と、前年同月から大幅に減少した（図5）。

輸入先国はドイツ、オランダおよびデンマークの3カ国で、輸入量は次の通りであった。

ドイツ	1254トン
（前年同月比19.9%減、前月比54.1%増）	
オランダ	200トン
（同2.0倍、同2.0倍）	
デンマーク	22トン
（同96.4%減、同94.3%減）	

図5 ばれいしょでん粉の国別輸入量の推移



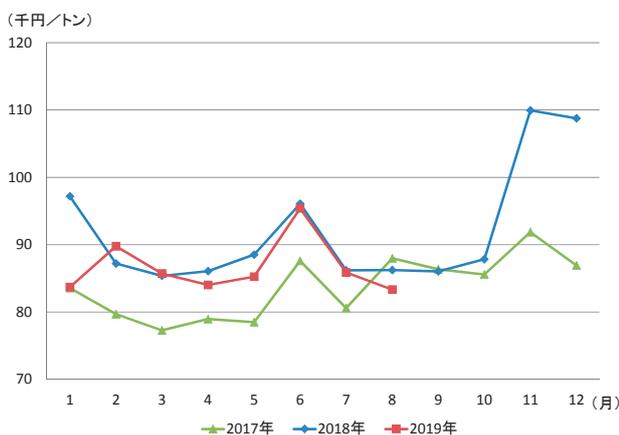
資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

2019年8月の1トン当たりの輸入価格は、8万3338円（前年同月比3.4%安、前月比3.0%安）と、前年同月および前月をやや下回った（図6）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

ドイツ	8万3353円
	（前年同月比4.8%安、前月比2.9%安）
オランダ	8万3340円
	（同1.0%高、同0.3%高）
デンマーク	8万2455円
	（同1.2%安、同4.9%安）

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

### 【でん粉誘導体の輸入動向】

#### 8月の輸入量は前年同月および前月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2019年8月のでん粉誘導体の輸入量は、2万5431トン（前年同月比22.3%減、前月比47.1%減）と、前年同月および前月から大幅に減少した（図7）。

でん粉誘導体の輸入先国は18カ国で、最大の輸入先国はタイであった。主要輸入先国からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の約7割を占めており、次いでベトナム、豪州となっている（表3）。

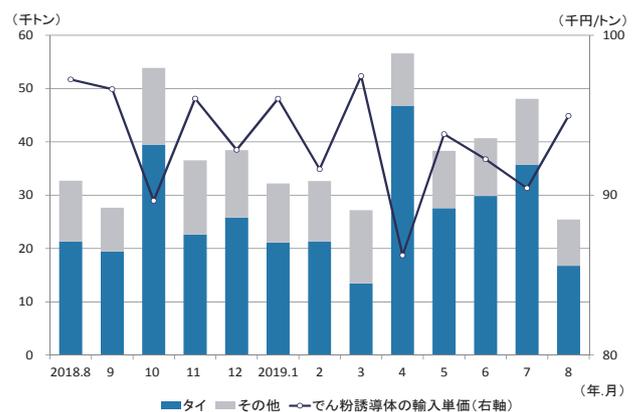
表3 でん粉誘導体の主要輸入先国および輸入量（8月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア（%）
合計	25,431	100.0
うち タイ	16,748	65.9
ベトナム	1,863	7.3
豪州	1,358	5.3
フランス	967	3.8
米国	825	3.2
デンマーク	717	2.8

資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-100

2019年8月の1トン当たりの輸入価格は、9万4966円（前年同月比2.3%安、前月比5.0%高）と、前年同月からわずかに下落した。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-100

### 【デキストリンの輸入動向】

#### 8月の輸入量は前年同月および前月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2019年8月のデキストリンの輸入量は、742トン（前年同月比39.3%減、前月比49.1%減）と、前年同月および前月から大幅に減少した（図8）。

デキストリンの輸入先国は13カ国で、デキストリンの輸入量は、上位輸入先国の数量および各国のシェアも含め、月ごとの変動が大きい。

上位輸入先国からの輸入量は次の通りで、タイお

よびベルギーで輸入量の約6割を占めている(表4)。

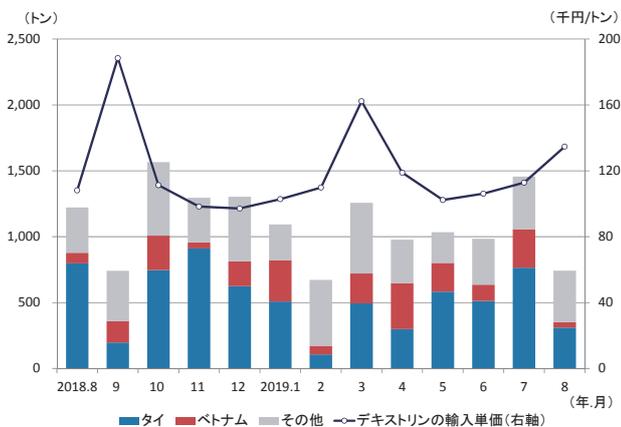
表4 デキストリンの主要輸入先国および輸入量(8月)

輸入先国	輸入量(トン)	シェア(%)
合計	742	100.0
うち タイ	310	41.7
ベルギー	137	18.5
オランダ	50	6.8
中国	45	6.0
ベトナム	42	5.7

資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-200

2019年8月の1トン当たりの輸入価格は、13万4660円(前年同月比24.6%高、前月比19.4%高)と、前年同月および前月から大幅に上昇した。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-200

### 【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】 8月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2019年8月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、24万7487トン(前年同月比19.7%減、前月比5.9%減)となり、前年同月から大幅に減少した(図9)。

輸入先国は、米国およびブラジルの2カ国で、国別の輸入量は次の通りであった。

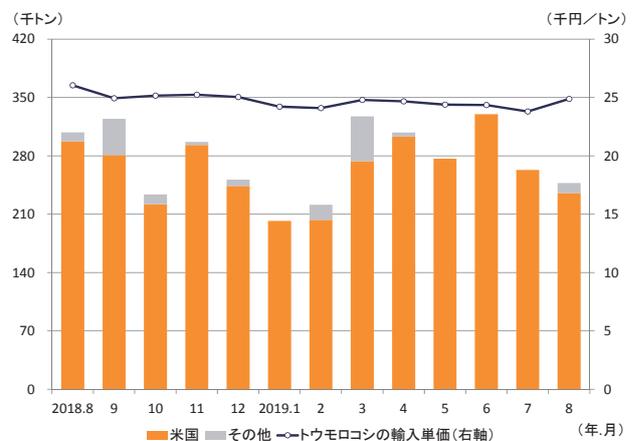
米国 23万5478トン  
(前年同月比20.9%減、前月比10.5%減)  
ブラジル 1万2009トン  
(前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし)

2019年8月の1トン当たりの輸入価格は、2万4880円(前年同月比4.5%安、前月比4.6%高)と、前年同月からやや下落した。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

米国 2万4970円  
(前年同月比4.3%安、前月比4.9%高)  
ブラジル 2万3127円  
(前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし)

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1005.90-091